

キーセッションⅢ

9:30-10:30

第1会場

座長：大久保 暢子 (聖路加国際大学看護学部)

診療報酬・介護報酬としての看護技術成果の将来

診療報酬・介護報酬としての看護技術成果の将来—看護技術に対する適正評価を目指して

演者：小野田 舞 (東京医科大学医学部看護学科
／一般社団法人看護系学会等社会保険連合事務局)

診療報酬・介護報酬としての看護技術成果の将来

演者：石田 まさひろ (参議院議員)

キーセッションⅣ

10:45-12:15

第1会場

座長：川原 由佳里 (日本赤十字看護大学)

看護技術の歴史と展開 一戦前と戦後の比較を通して

演者：鈴木 紀子 (順天堂大学医学部医史学研究室)

演者：滝内 隆子 (金沢医科大学看護学部)

シンポジウム

13:15-14:45

第1会場

座長：本館 教子 (聖マリアンナ医科大学病院)・野月 千春 (JCHO 東京新宿メディカルセンター)

地域と病院をつなぐ看護のわざ

地域と病院をつなぐ看護のわざ 一聖マリアンナ医科大学病院での取り組み

演者：三田 由美子 (聖マリアンナ医科大学病院 感染制御部 感染管理認定看護師)

地域と病院をつなぐ看護のわざ

一重症心身障がい児(者)施設での感染管理認定看護師の活動について

演者：小西 智子 (三篠会重症児・者福祉医療施設 ソレイユ川崎)

腹膜透析患者を地域と共に支える看護のわざ ～基幹病院から地域へつなぐ連携拡大の仕組みと看護のわざ Aging in Placeの実現を目指して～

演者：今井 早良 (日本赤十字社医療センター 血液浄化センター 透析看護認定看護師)

地域と病院をつなぐ看護のわざ

演者：内川 由香 (JCHO 東京新宿メディカルセンター 摂食・嚥下障害看護認定看護師)

演者：伊藤 加奈 (株式会社ケアーズ 白十字訪問看護ステーション 訪問看護師)

口演2群 9:00-10:00 侵襲的処置のケア

座長:篠崎 恵美子(人間環境大学看護学部)

- 0-05 静脈穿刺時に血管怒張を促す有効な手技の検証(第1報)
ータッピングと熟練看護師の動作から抽出されたマッサージの比較ー

安田 佳永¹、佐藤 早紀²、杉村 直孝¹、榎本 常子³、矢野 理香⁴¹北海道大学大学院保健科学院、²北海道大学病院、³元札幌通信病院、⁴北海道大学大学院保健科学研究所

- 0-06 非接触型静脈可視化装置を用いた静脈弁検出方法の検討

佐々木 新介

岡山県立大学 保健福祉学部 看護学科

- 0-07 技術教育における末梢静脈留置型中心静脈カテーテル(PICC)のミニマム・エッセ
ンシャルズ

倉本 直樹¹、渡邊 順子¹、石川 彩実²¹静岡県立大学 看護学部、²静岡県立大学大学院 看護学研究科

- 0-08 カテコラミンシリンジ交換に関する文献検討

石川 彩実、渡邊 順子、倉本 直樹

静岡県立大学 大学院 看護学研究科

口演3群 10:45-12:00 温める・動く・体位を整えるケア

座長:高橋 有里
(岩手県立大学看護学部)

- 0-09 若年冷え症女性の足部への温熱刺激がもたらす生理学的効果
ー自律神経活動指標と循環動態を用いた継続介入に向けた検討ー

河野 かおり¹、金子 健太郎²、尾形 優³、種市 輝⁴、山本 真千子^{2,5}¹獨協医科大学 看護学部、²茨城キリスト教大学 看護学部、³聖路加国際病院、⁴独立行政法人 国立病院機構 水戸医療センター、⁵茨城キリスト教大学 大学院 看護学研究科

- 0-10 ビデオ映像を用いた振り返りが車椅子移乗技術の自主練習に及ぼす効果

山下 里奈¹、前田 ひとみ²、松本 智晴²¹鹿児島純心女子大学 看護栄養学部 看護学科、²熊本大学大学院 生命科学研究部 環境社会医学部門 看護学講座

- 0-11 2種類の座り直し技術における介助者と被介助者の身体的負担に関する
主観評価の比較

赤間 光代¹、山本 美紀²、山川 京子²¹JA北海道厚生連 帯広厚生病院、²日本赤十字北海道看護大学

- 0-12 身体・精神的反応及び主観的評価から判断する安楽な同一体位保持時間の検討

須見 隼登¹、升田 由美子²、一條 明美²、神成 陽子²、綱元 亜依²¹旭川医科大学病院 看護部 ICU、²旭川医科大学 医学部 看護学科 看護学講座

0-13 生活行動の視点に基づく術後患者の離床を促進する看護ケアプログラムの効果

加藤木 真史

聖路加国際大学 大学院看護学研究科

口演4群 13:15-14:45 看護実践力向上 座長:岡田 忍(千葉大学大学院看護学研究科)

0-14 アンプルカットにおけるアナロゴンの活用

中村 昌子

共立女子大学看護学部看護学科

0-15 患者中心型デザインワークショップ手法における言語化の程度の評価に関する研究

西山 里利¹、西山 敏樹²、塩瀬 隆之³

¹目白大学 人間学部 子ども学科、²東京都立大学 都市生活学部、³京都大学 総合博物館

0-16 看護学生を対象とした看護技術教育に関する研究の動向とその課題

杉村 直孝¹、矢野 理香²

¹北海道大学 大学院保健科学院、²北海道大学 大学院保健科学研究院

0-17 自律神経コントロールに協調する横隔膜呼吸運動のプロトコル設計

早野 貴美子¹、河原 加代子²、黒澤 泰子³

¹防衛医科大学校 医学教育部 看護学科、²首都大学東京 人間健康科学研究科 看護科学域、³黒沢クリニック

0-18 作為的表情における顔面筋活動からみた表情観察の看護学的理解

藏元 恵里子¹、吉永 砂織²、根本 清次³

¹宮崎県立看護大学、²宮崎大学医学部看護学科、³東都医療大学

0-19 はじめての献腎摘出で看護師が感じた思い デブリーフィングを実施して

大谷 安代

医療法人社団日高会 日高病院 看護部

一般演題/示説

10月15日(日)

第7会場

示説4群 9:15-10:30 看護実践力向上 座長:西田 直子(京都学園大学健康医療学部看護学科)

P-18 革新的看護技術の普及に関する影響要因の検討—文献検討の結果から—

佐々木 杏子¹、大久保 暢子²、早瀬 良³、角濱 春美⁴、沼田 祐子⁴、三上 れつ³、菱沼 典子⁵

¹神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 看護学科、²聖路加国際大学大学院 看護学研究科、

³中部大学 生命健康科学部 保健看護学科、⁴青森県立保健大学 健康科学部 看護学科、⁵三重県立看護大学

P-19 経口摂取困難な患者への看護実践の成果 一看護系雑誌で集積した事例個票から一

中山 久美子¹、宮城 恵里子¹、平松 則子¹、小林 由子¹、武田 美津代²、新井 恵子³、
大宮 裕子⁴、前田 志名子⁵、石向 節子⁶、川嶋 みどり¹

¹健和会 臨床看護学研究所、²埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科、

³川口市立看護専門学校 第2看護学科、⁴西武文理大学 看護学部 看護学科、

⁵桜美林大学老年学総合研究所、⁶日本看護実践事例集積センター

P-20 脳血管疾患をもつ人のセルフケアを支援する看護師を対象とした教育プログラムの検討

桐原 あずみ、和田 美也子、住谷 ゆかり、本庄 恵子、田中 孝美、細井 美沙子、工藤 有希
日本赤十字看護大学 看護学部

P-21 「セルフケア支援を語り合う会」に参加したセルフケア支援を行う看護師の変化：脳血管疾患に焦点をあてて

細井 美沙子、本庄 恵子、田中 孝美、和田 美也子、住谷 ゆかり、桐原 あずみ、工藤 有希
日本赤十字看護大学 看護学部

P-22 出身大学の教育に参加することによる卒業生自身への効果
一客観的臨床能力試験の評価者を経験して一

藤澤 望、井上 都之、鈴木 美代子、三浦 奈都子、高橋 有里、平野 昭彦、菊池 和子
岩手県立大学 看護学部 看護学科

示説5群 10:45-12:15 看護技術教育 座長: 佐伯 由香 (愛媛大学大学院医学系研究科)

P-23 携帯型腰部負担計測器を用いた看護学生への腰痛予防教育の試み

伊丹 君和、川端 愛野、関 恵子、米田 照美
滋賀県立大学 人間看護学部 人間看護学科

P-24 授業時間外での看護技術練習の現状と課題一自己学習力の向上を目指した自己調整学習支援システム導入前評価として一

徳永 なみじ、相原 ひろみ、野本 百合子
愛媛県立医療技術大学 保健科学部 看護学科

P-25 「ナラティブ・デモンストレーション」を用いた看護技術教育方法の検討 第1報
一学生の受けとめに焦点を当てて一

殿城 友紀、安島 幹子、内山 孝子、酒井 千恵、樋口 佳栄、吉田 みつ子
日本赤十字看護大学 看護学部 看護学科

P-26 地域に密着した模擬患者を活用した教育の評価 (第1報)
一基本的コミュニケーション尺度を用いて一

川島 美佐子、富山 美佳子、斉藤 利恵子、山本 瑞恵、石井 千晴
足利工業大学看護学部

P-27 地域に密着した模擬患者を活用した教育の評価（第2報）
—学生アンケートの記述に表れるコミュニケーションの傾向—
山本 瑞恵、川島 美佐子、石井 千晴、齊藤 利恵子、富山 美佳子
足利工業大学 看護学部

P-28 地域に密着した模擬患者を活用した教育の評価（第3報）
—演習に参加した模擬患者の満足度と傾向—
石井 千晴、川島 美佐子、山本 瑞恵、齊藤 利恵子、富山 美佳子
足利工業大学 看護学部

示説6群 13:15-14:15 看護技術教育・触れるケア 座長:茂野 香おる (淑徳大学看護栄養学部)

P-29 女性高齢者の下肢触圧刺激による足部感覚および立位姿勢調節機能の変化
棚崎 由紀子¹、奥田 泰子¹、深井 喜代子²
¹人間環境大学 松山看護学部 看護学科、²岡山大学大学院 保健学研究科

P-30 学生が他者に直接触れながら会話すること
-ハンドトリートメントのコミュニケーションへの影響-
中村 恵、唐澤 由美子、塩原 真弓
東京純心大学 看護学部 看護学科

P-31 看護学生の触れるケア体験におけるケアに対する意識と Sense of Coherence の変化
本江 朝美、岩淵 正博、桑田 恵子、鈴木 恵、吉江 由美子
横浜創英大学 看護学部

P-32 基礎看護技術にタクティールケアを導入して—実習後のアンケート調査より—
緒方 昭子、村上 生美
森ノ宮医療大学 保健医療学部 看護学科

一般演題/示説

10月15日(日)

第8会場

示説7群 9:15-10:15 臨地実習における看護技術

座長:岡田 淳子
(県立広島大学保健福祉学部看護学科)

P-33 臨地実習における看護学生の臥床患者リネン交換の経験状況～東京都内の看護専門学校、看護大学へのアンケート調査から～
井澤 晴美、大澤 健司、佐野 なつめ
JCHO 東京新宿メディカルセンター附属看護専門学校

P-34 臨地実習における看護学生の患者教育1
—学生の成功感と患者教育スキル・コミュニケーションスキルの関係—
森田 結菜¹、井原 緑²
¹昭和大学病院、²昭和大学 保健医療学部

P-35 臨地実習における看護学生の患者教育2 学生が実施した項目

井原 緑¹、森田 結菜²、大木 友美¹

¹昭和大学 保健医療学部 看護学科、²昭和大学病院

P-36 臨地実習における看護学生の患者教育3 学生が考える成功の理由

井原 緑¹、森田 結菜²、大木 友美¹

¹昭和大学 保健医療学部 看護学科、²昭和大学病院

示説8群 10:45-12:15 排泄ケア・アセスメント

座長:渡邊 順子
(静岡県立大学看護学部・大学院看護学研究科)

P-37 排便パターン分類フローチャート改訂版の妥当性に関する検討

細野 恵子¹、菱沼 典子²、縄 秀志³、加藤木 真史³、吉良 いずみ⁴、田中 美智子⁵、丸山 朱美⁶、
加藤 京里⁷、矢野 理香⁸、平澤 ちよみ⁹、塚越 みどり¹⁰

¹旭川大学 保健福祉学部 保健看護学科、²三重県立看護大学、³聖路加国際大学 大学院看護学研究科、

⁴大分大学 医学部 看護学科、⁵宮崎県立看護大学 看護学部、⁶北海道せき損センター、

⁷東京女子医科大学 看護学部、⁸北海道大学 大学院保健科学研究院、

⁹岩手県立中部病院、¹⁰横浜市立大学 医学部 看護学科

P-38 排便パターン分類フローチャート改訂版 Ver.2 の妥当性に関する検討

細野 恵子¹、加藤 京里²、菱沼 典子³、縄 秀志⁴、矢野 理香⁵、加藤木 真史⁴、丸山 朱美⁶、
久賀 久美子⁷、田中 美智子⁸、塚越 みどり⁹、吉良 いずみ¹⁰

¹旭川大学 保健福祉学部 保健看護学科、²東京女子医科大学 看護学部、³三重県立看護大学、

⁴聖路加国際大学 大学院看護学研究科、⁵北海道大学 大学院保健科学研究院、⁶北海道せき損センター、

⁷北海道科学大学 保健医療学部 看護学科、⁸宮崎県立看護大学 看護学部、⁹横浜市立大学 医学部 看護学科、

¹⁰大分大学 医学部 看護学科

P-39 熟練訪問看護師がグリセリン浣腸や摘便を実施するまでのプロセスの分析

栗田 愛¹、武田 利明²

¹人間環境大学 看護学部、²岩手県立大学

P-40 フィジカルアセスメント技術の必要性と学生が実習で困難と感じる点
—インタビューからの考察—KH Coder による分析—

宮本 まり子

つくば国際大学 医療保健学部看護学科

P-41 新人看護師の呼吸器系フィジカルイグザミネーションの到達度
—シミュレーションシナリオを用いた他者評価—

田尻 美紀¹、大野 夏代²、樋之津 淳子²

¹砂川市立病院附属看護専門学校、²札幌市立大学看護学部

P-42 注視と行動からみた熟練看護師の環境整備の特徴

大黒 理恵、大河原 知嘉子、齋藤 やよい

東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科

P-43 ライン・チューブ類自己抜去の予測と予防の検討—病棟特性の違いから—

山下 智子¹、宮下 悦子¹、西島 澄子¹、木間 美津子¹、加藤 真由美²、正源寺 美穂²、
柴田 克之²

¹医療法人社団浅ノ川 心臓血管センター金沢循環器病院、²金沢大学保健学系

P-44 後頭部冷罨法によるリラクゼーション効果の検討

松下 直子

関西医療大学保健看護学部保健看護学科

P-45 「気持ちよさ」をもたらす看護ケアに対する看護師の認識
—全国調査の分析 その1—

樋勝 彩子¹、縄 秀志¹、佐居 由美¹、矢野 理香²、大橋 久美子³、櫻井 利江⁴

¹聖路加国際大学大学院看護学研究科、²北海道大学大学院保健科学研究院、
³前 聖路加国際大学大学院看護学研究科、⁴前 東京医科大学医学部看護学科

P-46 腹臥位における高齢者のリラクゼーションと身体柔軟性・バランス機能への効果

大宮 裕子、松岡 由美子

西武文理大学 看護学部 看護学科

交流セッション5

9:00-10:30

10月15日(日)

第3会場

身体拘束・抑制を回避するための看護実践、教育実践を見つけよう！

縄 秀志¹、肥後 すみ子²、真下 孝江³、富山 美佳子⁴、武田 貴美子⁵、河村 恵美⁶、柳 奈津子⁷、
今野 康子⁵、大澤 幸枝⁵、野本 悦子⁵、坂田 みゆき⁸¹聖路加国際大学大学院 看護学研究科、²群馬県立県民健康科学大学 看護学部、³医療法人社団日高会 日高病院、⁴足利工業大学 看護学部、⁵高崎健康福祉大学 保健医療学部 看護学科、⁶群馬大学医学部附属病院、⁷群馬大学大学院 保健学研究科、⁸前 伊勢崎市民病院**交流セッション6**

10:45-12:15

10月15日(日)

第3会場

セルフケア能力を高める支援～推進の取り組みにおけるコアナースのチャレンジ～

酒井 礼子¹、本庄 恵子²、野月 千春¹、本館 教子³、末永 真由美⁴、大内 理恵¹、近藤 仁美³、
永利 公児³、倉田 浩³、及川 麻衣子⁵、古川 祐子⁵¹JCHO 東京新宿メディカルセンター、²日本赤十字看護大学、³聖マリアンナ医科大学病院、⁴関東学院大学、⁵日本赤十字社医療センター**交流セッション7**

13:15-14:45

10月15日(日)

第3会場

口から食べるを支える摂食・嚥下ケアとフィジカルアセスメント

水戸 優子¹、芳村 直美²、小林 由実¹¹神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 看護学科、²社団三思会 東名厚木病院 摂食嚥下療法科**交流セッション8**

9:00-10:30

10月15日(日)

第5会場

副交感神経活動リザーブを高める看護技術の確立

一生理学的メカニズムをふまえた冷え症状の予防・改善に向けた看護技術の検討一

河野 かおり¹、尾形 優²、金子 健太郎³、種市 輝⁴、山本 真千子^{3,5}¹獨協医科大学 看護学部、²聖路加国際病院、³茨城キリスト教大学 看護学部、⁴独立行政法人 国立病院機構 水戸医療センター、⁵茨城キリスト教大学 大学院 看護学研究科**交流セッション9**

10:45-12:15

10月15日(日)

第5会場

「日本看護技術学会 若手の会」発足を目指して

長島 俊輔^{1,2}、杉村 直孝³、安田 佳永³、山口 真弥³、佐藤 早紀⁴、山下 舞琴^{1,5}、河嶋 亜衣³、
穴戸 穂⁶、平館 ありさ³¹京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻、²日本学術振興会 特別研究員(DC1)、³北海道大学大学院 保健科学院 看護学コース、⁴北海道大学病院 看護部、⁵京都光華女子大学 健康科学部 看護学科、⁶KKR 札幌医療センター 看護部**交流セッション10**

13:15-14:45

10月15日(日)

第5会場

安全なグリセリン浣腸の普及について考える ～Q&Aの充実と摘便の実際～

武田 利明¹、吉田 みつ子²、大久保 暢子³、香春 知永⁴、栗田 愛⁵¹岩手県立大学、²日本赤十字看護大学、³聖路加国際大学、⁴武蔵野大学、⁵人間環境大学

座長：水戸 優子（神奈川県立保健福祉大学）・武内 和子（川崎市立看護短期大学）

-
- 10 床上における自力での上方移動とスライディングシートによる上方移動の移動時間と主観評価の比較
飛谷 亮介¹、近藤 亜生²、堀田 真生³、山川 京子³
¹静岡赤十字病院、²JA 北海道厚生連網走厚生病院、³日本赤十字北海道看護大学
-
- 11 ビノレルビン血管外漏出性皮膚傷害のケアに関する基礎的研究
瀧澤 里奈¹、三浦 奈都子²、武田 利明²
¹前岩手県立大学 看護学部、²岩手県立大学 看護学部
-
- 12 被災地域で実施可能な簡便且つ効果的な手指衛生方法の開発
岡山 貴史¹、長瀬 健佑²、平木 沙有理³、箱田 恵里⁴、上垣 琉璃⁵、村谷 哲郎⁶、佐藤 康介⁷、掛田 崇寛^{4,6}
¹近畿大学医学部附属病院 看護部、²川崎医科大学総合医療センター 看護部、³赤穂市民病院 看護部、⁴関西福祉大学 看護学部、⁵兵庫県立姫路循環器病センター 看護部、⁶薬剤感受性サーベイランス研究会、⁷災害医療センター 看護部
-
- 13 臨床看護師が考える看護のセンスに関する研究
中嶋 康介¹、清水 健太²、葉賀 将³、齋藤 景³、上星 浩子⁴
¹公益社団法人群馬県医師会群馬リハビリテーション病院、²独立行政法人国立病院機構渋川医療センター、³独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター、⁴群馬パース大学保健科学部看護学科
-
- 14 活動後における血圧と脈拍数の変動および安静時の値に戻るまでの時間の検討
土田 貴文¹、柏原 七海²、岸本 悠希²、藏ヶ崎 花奈³、齋藤 優佳⁴、杉山 遥¹、新村 真菜⁵、山内 優貴⁶、横須賀 遥¹、岩淵 起江⁷、竹内 朋子⁷
¹国立病院機構東京医療センター、²国立病院機構千葉医療センター、³川崎市立多摩病院、⁴東芝病院、⁵東京医科大学病院、⁶横浜市立大学附属市民総合医療センター、⁷東京医療保健大学東が丘・立川看護学部
-
- 15 我が国でリビングウィルを普及させるための現状と課題
木船 淑¹、岡田 淳子²
¹杏林大学医学部附属病院 呼吸器・甲状腺外科、²県立広島大学 保健福祉学部 看護学科
-
- 16 看護大学生の服薬アドヒアランスに関する実態調査
仲島 歩弥、菅原 清子
静岡県立大学 看護学部 看護学科
-
- 17 拘縮を想定した常在菌増殖実験
平木 玲菜¹、永山 千晶²、加藤 洋司³
¹広島大学病院、²広島記念病院、³県立広島大学
-
- 18 白衣ポケット内における菌残留実験
風間 美奈¹、木村 幸生²
¹岡山済生会総合病院、²県立広島大学